

日帰り電車の旅

写真集4

トゥール

→フルジュ

→オルシアン

→フロア

→トゥール



トゥール駅



電車は空いている



Bourges Railway Station / フールジュ駅

フールジュ観光

フールジュの名前は「ビトゥリゲス族」からとも、ドイツ語で「城」を意味するBurg(フランス語:bourg)からとされている。

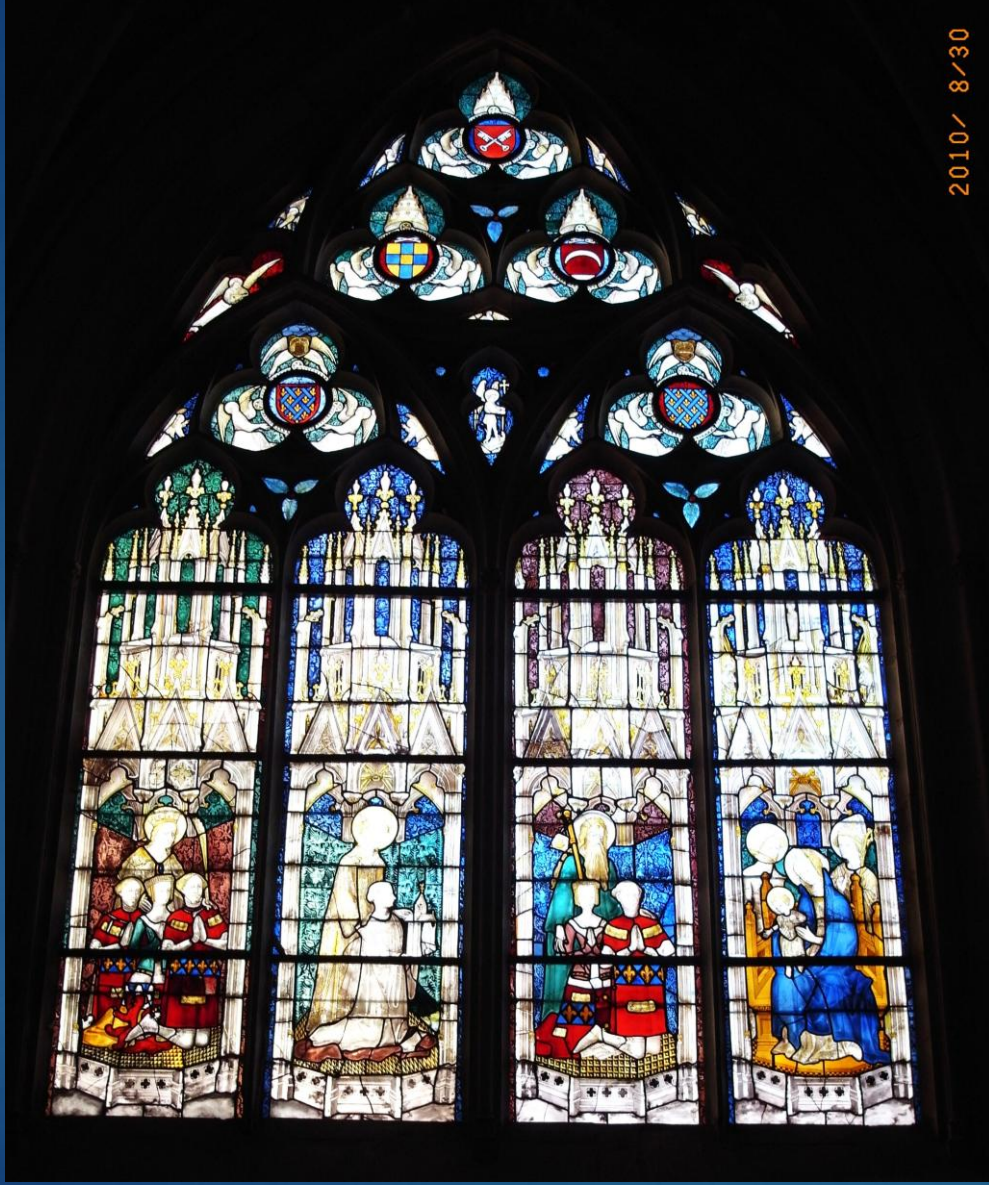




フールジュはフランス各地からピレネー山脈を越え、スペイン北西部の聖ヤコブの聖地へと向かう世界遺産の道「サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路」。その巡礼路上にある。



サン・テ・ティエンヌ大聖堂は、フランス・ゴシック建築の最高傑作のひとつとされ「フールジュ大聖堂」の名称で世界遺産に登録されています。





階段を登って屋上へ



屋上の出入口





屋上からの景色は素晴らしい



2010/ 8/30





2010/ 8/30



地平線が見えるに感激



フールジュ駅に戻る途中





フラワーベッド、像、大司教の庭





大司教の庭で一休み フールジュ

オルレアン 通過した



ジョルジュ・サルク橋とオルレアン大聖堂



シャルル7世戴冠式のジャンヌ・ダルク



オルレアンの少女



マルトロワ広場



オルレ안의町 ロワール左岸をのぞむ



1429年のジャンヌのランス進駐

フロア に移動



フロア城とロアール川にかかる古い橋：ジャックガブリエル橋



フロア城とジャックガブリエル橋



フロア駅前



フロア駅



階段を登ってフロア城に向かう

フロワ城はフロワの街の中央にある。16世紀にフランスの首都がパリに移るまでの約100年間、王家の第一城であった。



フロワ城(フランソワ1世の翼)



ルイ12世王の翼 フロア城の入り口



ルイ12世王の翼

ルイ12世の騎馬像

中庭を囲む 建物（4つの翼）



オルレアン公ガストンの翼

ルイ12世王の翼

フランソワ1世棟



フランソワ1世の螺旋階段



オルレアン公ガストンの翼



ルイ12世の翌



フロア城の庭園







サラマンダー (Salamander)

有尾類(有尾目)に属する動物

ランソワ1世の紋章の動物、竜（サラマンダー）。口から火を吐いている。



アンリ3世によるギース公爵暗殺事件

ユグノーと呼ばれるカルヴァン派とカトリックとの争いがフランスの宗教戦争である。

パリ市民の人気を博し王位をうかがおうとしたギース公は、国王アンリ3世の命による20人の刺客に取り囲まれ、あえない最期を遂げた。フランソワ1世棟には、ギース公が殺害された部屋が残されている。

アンリ 3 世の時代(1574年～1589年)になると、ギーズ公アンリは、ユグノーの首領であるブルボン家のアンリ(後のアンリ 4 世)と対抗するカトリックの旗頭として、弟のロレーヌ枢機卿と共に、フランスの政界、宗教界を牛耳る実力者として国王の存在を脅かすまでになった。

1588年12月、ブロワに三部会が召集されたが、ギーズ派はこの会議に多数を占め、数を頼んで王を退位させ、ギーズ公アンリを新たに国王に擁立しようと目論んだ。この計画を知り、恐怖にかられた国王アンリが、これを防ぐ唯一の手段として乾坤一擲、ギーズ公アンリの暗殺を図る。これが、ブロワ城中で行われたギーズ公爵暗殺事件の背景であった。

1588年12月23日の朝はとりわけ寒気が厳しかった。夜を徹して女とすごしたギーズ公アンリは疲れていた。そのせいか寒さが余計身にしみた。ぶるっと身ぶるいをして部屋の片隅の暖炉に」歩み寄ったアンリは、横に積み上げてある薪の 2， 3 本をつかんで暖炉の中に放り込んだ。消えかかっていた燃えさしから、パッと灰と火花があたりに散った。やがて息を吹き返した火種は、パチパチと勢いよく燃え始め、暖炉の上に施された数代前の国王の火トカゲ紋章が、真実火を吐いているように赤く光って見えた。

「閣下、国王陛下が書斎でお待ちです。」という幾分緊張に震えた声を聞いたのは暖炉を背にしたギーズ公が数人の同僚と会議を始めたばかりの時だった。椅子から立ち上がったアンリは窓辺に歩み寄り、勢いよく窓を開け放った。粉雪混じりの冷たい空気が、アンリの火照った顔に吹きつけ、一瞬で眠気がとんだ。外は一面の雪だった。閣議の間を出たギーズ公は、王の寝室を通り王の待つ書斎へと歩いて行った。寝室には数人の王の衛兵がたむろしていた。彼らの目に宿るただならぬ気配に一瞬疑念が走ったが、睡眠不足で思考力の落ちたアンリの脳裏からすぐ消えた。たとえそんな悪条件でなくとも、この2mを越す大男のギーズ公は、そんなことを気にもかけなかっただろう。王の書斎に入るや数人の抜剣した男達の姿が目映った。「しまった！はかられた！」事の重大さをここで初めて悟ったアンリは、後ずさりしながら部屋から逃げようとしたが既に遅すぎた。数人の兵士がアンリの退路を塞いでいた。「国王があなたのお命を狙っています。お気をつけ下さい。という忠告が一瞬頭をよぎった。この耳打ちを笑い飛ばして聞かなかった自分が悔やまれた。数人が一ぺんに打ちかかってきた。とっさに身をかわしたが、幾太刀かはよけきれなかった。夢中で何人かを投げ飛ばしたが、だんだん目がくらんできた。戦いの舞台は王の寝室に移っていた。血まみれのアンリはまるで阿修羅のようだった。しかしさすがのアンリも、多勢に無勢では勝目はなかった。おまけに、不意打ちをくらった時の手負い傷が、だんだんきいてきて、次第に動きが鈍くなってきた。この機を待っていた刺客達は、すかさずギーズ公の心臓に止めの一撃を加えた。それで終りだった。凄惨な大活劇はあっけなく終わった。大した時間経っていなかったが、居合わせた人間にとって、それは途方もなく長い時間のように感じられた。バタバタとした伝令が、成行き如何と息を詰め待ち構えている王のもとに走った。王は息づかいも荒く、緊張に青ざめて足早に入って来た。部屋は乱闘の跡も生々しく、家具類が散乱し、致死引きがあたり一面に飛んでいた。この凄惨な場面に横たわるギーズ公アンリを見下ろしながら、国王は、「うーん何という男だ！生きている時よりもっと大きく見えるとは！」とつぶやいた。その足で国王は母親のカトリーヌのもとに赴いた。過去30年フランスの政治を動かしてきた気丈なカトリーヌも、年老いて死の床に横たわっていた。自分の寝室の真上の部屋で、いましがた行われた大騒動は、天井一枚を通して彼女の部屋に直に伝わってきた。息子のただならぬ様子は、衰えたとはいえ聡明なカトリーヌにその思いを確信させた。「母上、パリ王は死にました。」という息子の簡単な報告を聞いたカトリーヌは、「おまえが無王にならなければいいが…」と答えた。事件の翌日、既に捕らえられていたギーズ公の弟ロレーヌ枢機卿も処刑され、二人の遺体は焼かれ、灰はロワール川に撒かれたという。

カトリーヌの予言と不安は的中し、国王アンリ 3 世は翌1589年の 8 月 1 日、狂信的なカトリック修道士ジャック・クレマンの凶刃によって倒れる。



1588年12月23日にブロワ城で起こった「ギーズ公爵殺人事件」を描いたもの



ギーズ公は当時勢力を広げていて、それを嫌ったアンリ3世の刺客に暗殺されたと言われています。
この絵が掲げられているこの部屋で、その事件は起こりました。



フロア城内



ギース公爵殺人事件の現場。アン13世の放った刺客にギース公爵が倒れた







François I (1494 - 1547) et de Louis (1515 - 1547)
Plaque d'identité de la statue en bronze du Louvre
Donnée par le Louvre (1793-1795)
François I (1494 - 1547) et de Louis (1515 - 1547)
Plaque d'identité de la statue en bronze du Louvre
Donnée par le Louvre (1793-1795)

フランソワ1世



フロア城ゆかりの人物

ルイ12世、フランソワ1世、アン13世、アン14世



フロア城の出入り口付近 場外



マジックの館

フロア城の入り口付近

恐竜が窓から顔を出している建物があった



フロア城の近く聖ニコラ教会

列車でカルカソンヌ に移動

トゥール ～ ポアティエ ～ ボルドー ～ トゥールーズ ～ カルカソンヌ



トゥール駅

ボルドー



ボルドー、サン＝ジャン駅の構内。

フランスの大きな都市では、頭端式ホームという車止めのあるフラットホームが多いが、サン＝ジャン駅は通過式ホームである。

ボルドーで途中下車し 昼食、 乗り換え



ボルドー駅前



駅中レストランで昼食 ペンネを食べた

Il y a plusieurs histoires dans un même petit village.
Je vais vous les raconter.



ボルドー ピエール橋 ガロンヌ川
時間がなくてこの橋を見ることが出来なかった

売店で本場のマカロンを購入して試食した。味は
イマイチ 日本のお菓子の方がずっと美味しい。



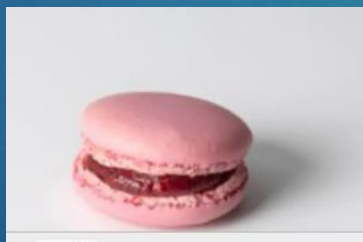
ショコラ

レインフォレストアライアンス認証(※)されたカカオを使ったチョコレートを使用したマカロンです。



ピスタチオ

香ばしいアーモンドパウダーとピスタチオペーストの風味が香るマカロンです。



ラズベリー

ラズベリーを15%使用した、甘酸っぱくさわやかなマカロンです。